



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成22年2月期 第1四半期連結決算(概況)
営業収益 95 億 98 百万円、経常損失 79 百万円、四半期純損失 57 百万円

ポケットカード株式会社(8519)の平成22年2月期第1四半期連結決算は、割賦購入あっせん部門、並びにプロセッシング部門が増収となったものの、金利の引き下げ及び与信の厳格運用による残高減少により融資部門が減収となり、営業収益全体では95億98百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

一方、業務全般においてコスト削減に努めたものの、利息返還請求に係る貸倒関連費用の増加、並びにプロセッシング部門での受託件数の増加によるカード発行費用の増加等により営業費用が増加した結果、営業損失は78百万円、経常損失は79百万円、四半期純損失は57百万円となりました。

割賦購入あっせん部門につきましては、ショッピング取扱高の増加に加え、ショッピングリボ拡大への各種取り組みが順調に推移した結果ショッピングリボ残高が大幅に伸長し、営業収益は20億53百万円(前年同期比19.0%増)となりました。

プロセッシング部門につきましては、プロセッシング受託件数の増加、並びに保証債務残高の拡大により、営業収益は7億93百万円(前年同期比39.6%増)となりました。

一方、融資部門につきましては、金利の引き下げ及び与信の厳格運用の実施による融資残高の減少により、営業収益は64億36百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

以上の結果、営業収益全体では95億98百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

費用面につきましては、業務効率化を進め各種コスト削減に努めたものの、利息返還請求に係る貸倒関連費用の増加、並びにプロセッシング部門での受託件数の増加によるカード発行費用の増加等により営業費用は96億76百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

以上の結果、営業損失は78百万円、経常損失は79百万円、四半期純損失は57百万円となりました。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	純利益
平成22年2月期 第1四半期連結業績	9,598	△79	△57
平成21年2月期 第1四半期連結業績	9,805	708	406
前年同期比	△2.1%	—	—

以上